

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	無痛分娩が少子化対策になり得るか 「無痛分娩により妊娠・出産を希望する女性が増えるかどうかの検討」(後ろ向きコホート多施設共同研究)
研究責任者	今野寛子 (主となる研究責任者: 一般社団法人日本無痛分娩研究機構 入駒慎吾)
研究実施体制	代表研究機関: 聖隷浜松病院 (研究協力施設は別紙参照)
研究期間	臨床研究審査委員会承認日~2020年12月31日まで
対象者	2020年10月~2020年11月の間に対象施設において無痛分娩で出産された方
研究の意義・目的	わが国の少子化問題への対策として、不妊治療への費用負担軽減などが謳われている。一方で、無痛分娩を含む出産・育児に関する補助の方がより重要であるという意見も多い。以前より、無痛分娩で出産した患者が「これならもう1人産める」とコメントするのをよく耳にした。無痛分娩記録の産後問診の項目に、①「無痛分娩があるから妊娠することにしたか?」、②「無痛分娩があれば、もう1人産めそうか?」を取り入れている施設もある。これらのデータを集計し、無痛分娩という選択肢が妊娠しやすい状況を生み出しうるかどうかを検討する。同様の問診を行っている施設と協力し、多施設共同研究を行う。結果次第では、少子化対策などの政策決定にも影響するか可能性がある。
研究の方法	無痛分娩記録に記載されているデータ項目から、個人を特定できる情報を除いたものを収集し、統計処理します。 ・年齢 ・妊娠に関するデータ項目(分娩回数、無痛分娩歴) ・産後問診に関するデータ項目(下記2項目) ①無痛分娩があるから妊娠することにしたか? ②無痛分娩があれば、もう1人産めそうか?
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	一般社団法人日本無痛分娩研究機構 代表理事 入駒慎吾 TEL:090-8422-8694(代表) 8:00~16:00 毎週木曜日(祝日は除く)